後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	2	総合的な環境対策の推進		
単位施策名称	1	低炭素型のまちづくりの推進		
施策の方向性		●まち全体として温室効果ガスを削減させる低炭素型の社会システムづくりを推進します。 ●二酸化炭素吸収源の一翼を担う森林の適正な管理を行い、自然環境の保全を図ります。		

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	森林の間伐面積	ha	目標値		19.3	20.8	22.3	23.8	25.3
			実績値	17.8	19.2	19.2	23.4	26.9	34.6
			達成状況		未達成	未達成	達成	達成	達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	森林の間伐面積は目標に若干達しなかったものの、概ね計画どおり進捗しています。
R4	森林の間伐面積は目標に若干達しなかったものの、令和5年度以降に行う森林整備の特定財源を確保することができました。
R5	令和5年度には特定財源（ひろしまの森づくり事業）を確保し、森林整備4.2haを実施し、施策目標を達成することができました。
R6	令和6年度も引き続き、特定財源（ひろしまの森づくり事業）を活用し、森林整備3.5haを実施し、施策目標を達成することができました。
R7	令和7年度も引き続き、特定財源（ひろしまの森づくり事業）を活用し、森林整備7.7haを実施し、施策目標を達成することができました

・評価及び対応方針

R3	2020年10月、政府はカーボンニュートラルを目指すことを宣言し、2050年までに大きな財政投資が見込まれています。このような国の動向を踏まえつつ、町においても令和4年度に策定予定の環境基本計画に基づき、当施策の更なる取組みの推進および見直し検討が必要と考えます。
R4	令和5年3月13日に宣言を行った「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、今後第2次環境基本計画及び第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく施策を推進していきます。
R5	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、第2次環境基本計画や第4次地球温暖化対策実行計画【事務時事業編】に基づく取組みを推進します。
R6	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、第2次環境基本計画【改定版】や第4次地球温暖化対策実行計画【事務時事業編】に基づく取組みを推進します。
R7	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、第3次環境基本計画や地球温暖化対策実行計画【事務事業編、区域施策編】に基づく取組みを推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	低炭素型社会づくり推進事業	0	698	1,730	2,163	97,930	102,521
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		0	698	1,730	2,163	97,930	102,521

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	低炭素型社会づくり推進事業	事業番号	321101
担当部署名	総務企画部　総務課　町民生活部　自治振興課　環境課　教育委員会　社会教育課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 総合的な環境対策の推進		
単位施策	1 低炭素型のまちづくりの推進		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 当該年度の実績なし
R4	○ 第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定作業を行いましたが、年度内に完成できなかったため、来年度引き続き策定作業を行います。
R5	○ 太陽光発電システムや家庭用蓄電池等の導入促進のため、令和6年1月より「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金」を開始しました。
R6	○ 「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金事業」を継続し、太陽光発電システム9件、家庭用蓄電池9件、家庭用燃料電池5件、合計23件の助成を行いました。
R7	○ 省エネ化を図るため、町長車にPHEV（プラグインハイブリッド（マツダCX-８０））車を導入しました。 ○ 町内の街路灯554基のLED化を実施しました。 ○ 「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金事業」を継続し、太陽光発電システム27件、家庭用蓄電池25件、家庭用燃料電池3件、合計55件の助成を行いました。 また、令和7年4月より「府中町宅配ボックス設置費補助金」を開始し、55件（156戸）の助成を行いました。 ○ くすのきプラザの照明をLED化しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	補助件数	件	目標値	－	－	30	30	30
			実績値	－	－	2	23	55
			達成状況	－	－	未達成	未達成	達成
②	第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定	%	目標値	－	100	－	－	－
			実績値	－	80	100	－	
			達成状況	－	未達成	達成	－	
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	①環境負荷の軽減に向け、太陽光発電や家庭用燃料電池等の設置に係る補助件数を指標としました。②計画策定が目的のため、計画の策定を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	0	0	0	0	0	0
R4	698	0	0	0	0	698
R5	1,730	0	0	0	1,630	100
R6	2,163	0	0	0	0	2,163
R7	97,930	3,435	0	85,928	0	8,567
合計	102,521	3,435	0	85,928	1,630	11,528

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	-
R4	第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定については、令和5年3月に改定された第5期広島県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）との整合性を図るため、年度内に完成することができませんでした。
R5	令和6年1月より「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金」を開始したため、助成件数は2件となり、目標を達成することはできませんでした。 令和5年10月に第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定しました。
R6	「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金事業」の助成件数は23件で、目標を達成することはできませんでした。12月で予算上限に達したため、申請の受付を終了したことが要因と考えられます。
R7	計画どおり、町長車にPHEV（プラグインハイブリッド（マツダCX-80））車１台を導入しました。 「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金事業」の助成件数は55件となり、目標値を達成しました。6月に当初予算の上限に達しましたが、補正予算の充当により予算を確保することで、目標値の達成につながりました。 町内の街路灯全てのLED化を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	-
R4	第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）については、令和5年度上半期中に策定するとともに、太陽光発電設備等導入補助金制度を令和5年度下半期より開始できるよう準備を進めます。
R5	再生可能エネルギーの導入促進のため、「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金」の活用とあわせ、導入につながる情報の提供など、引き続き普及啓発に務めていきます。
R6	「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金」について、更なる導入促進を図るため、導入につながる情報の提供など、広報活動の充実や予算の増額について検討します。
R7	「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金」の需要は高いため、今後も申請状況を踏まえながら、適切な予算を確保するとともに、引き続き普及啓発に努めます。今後も公用車の更新の際に、用途に合う車種がある場合は、電気自動車等への切り替えを検討します。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	-
R4	県計画との整合性を図るため、町計画の策定作業が遅延しましたが、令和5年度上半期に完了する見込みです。
R5	補助制度開始が1月からとなったため、助成件数は2件にとどまりました。 再生可能エネルギー導入促進のため、本補助金の活用をはじめ、導入につながる情報提供を行っていく必要があります。
R6	12月に予算の上限額に達したこともあり、助成件数23件と目標は達成しませんでした。 申請者は予想以上に多く、予算の増額などの検討が必要となります。
R7	助成件数55件と目標を達成しました。6月に当初予算の上限に達しましたが、補正予算の充当により本補助金を継続することができました。 町長車の更新に当たり、省エネ化を図るため、PHEV（プラグインハイブリッド（マツダCX-80））車を導入しました。 町内の街路灯全てのLED化を達成しました。 くすのきプラザの照明をLED化しました。

・評価及び対応方針

R3	-
R4	令和5年3月13日に宣言を行った「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、今後、第2次環境基本計画及び第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく施策を推進していきます。
R5	2050年ゼロカーボンシティ実現に向け、第２次環境基本計画や第４次地球温暖化対策実行計画【事務事業編】に基づく取組みを推進します。
R6	「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金」の補助件数目標の達成に向けて、導入促進のための広報活動を充実させるとともに、予算の増額も検討し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを推進します。
R7	「府中町住宅用再エネ等設備導入促進補助金」の需要は高いため、今後も申請状況を踏まえながら、適切な予算を確保するとともに、引き続き普及啓発に努めます。 公用車の更新の際しては用途に合う車種がある場合は、電気自動車等への切り替えを検討し、省エネ化を図ります。 さらに、公共施設のLED化を進めていくとともに、LED化による効果を検証し、省エネ実績やコスト削減効果を具体的に評価していく必要があります。